

MrtgログでGnuplotグラフを作る（Windowsインストール）

必要なパッケージとパス

- Mrtg : CPU、Memory、Diskのログを採る
- Gnuplot : 統合グラフを作る（環境変数Pathへ設定）

plotgraph処理と表示

1. Mrtgの各Cpu,Memory,Diskログを読み取り、Unixtimeを時刻へ変換し、時刻の古い順（正順）に統合okログへ書き出す
2. Gnuplotテンプレートと変数の値を組み込んだ実行exeファイルを作成する
3. 実行exeファイルを実行し、svgイメージファイルを作成する
4. ブラウザでsvgイメージをアクセスし最新のグラフを表示する

ソースとデータの展開

visualmonitor/graphsample/windows/mypathを以下の様に展開します

```
c:\mypath¥
|_ bin\
|   |_ mkplot.plt
|   |_ plotgraph.vbs
|_ mrtg\ （ここにmrtgログを置く）
|   |_ sample.com.cpu.log
|   |_ sample.com.disk.log
|   |_ sample.com.ram.log
|_ plot\ （ここにグラフィイメージ等が作成される）
    |_ sample.com.exe
    |_ sample.com.ok
    |_ sample.com.svg
```

準備と実行

* gnuplot.exeは環境PATH変数へ登録

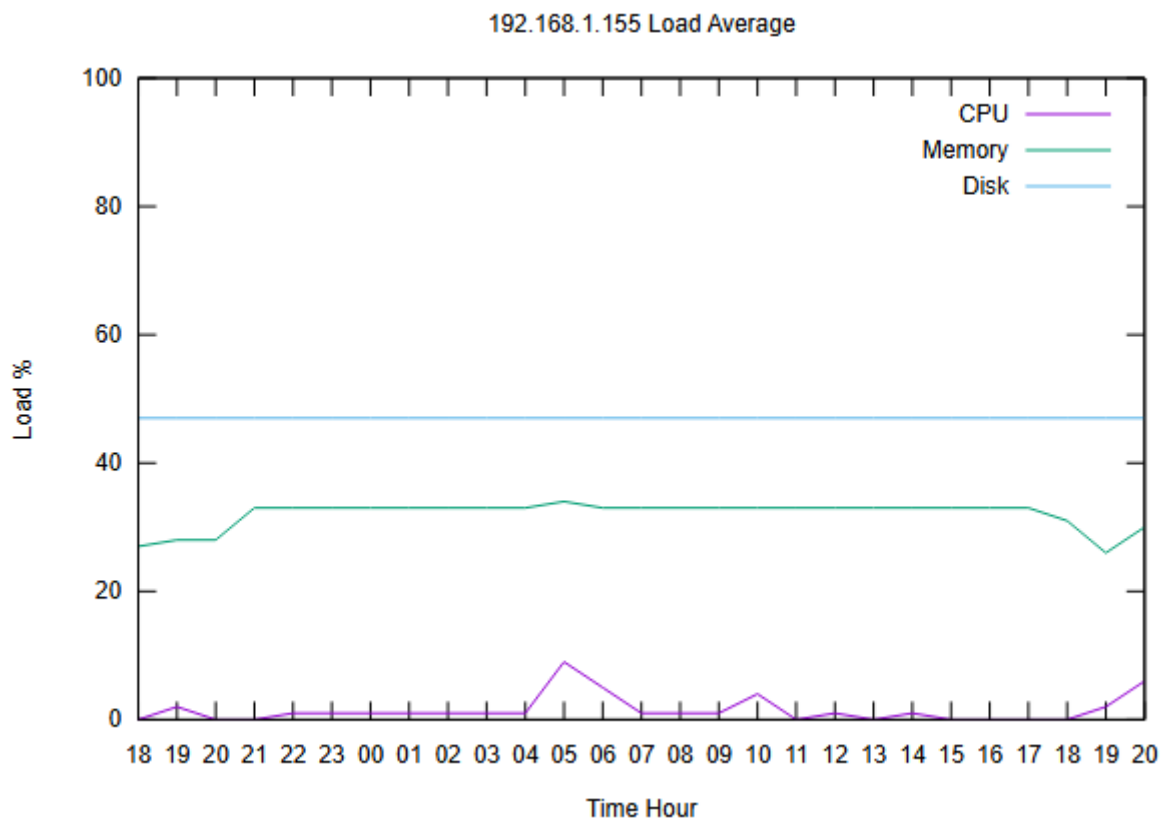
* 単独で実行例

```
c:\mypath> cscript bin\plotgraph.vbs bin mrtg plot
sample.com.svg image created
```

* 30分間隔定期実行例

```
> schtasks /create /sc minute /mo 30 /tn plotgraph /tr "cscript
c:\mypath\bin\plotgraph.vbs c:\mypath\bin c:\mypath\mrtg c:\mypath\plot" /ru
xxxxxx /rp yyyyyy
> schtasks /query /tn plotgraph
```

サンプル画像



その他

WindowsのSNMPマネージャでmrtgグラフを作成していたので利用することにしました。mrtgログ取得はタスクスケジューラ等で出来ますが、このグラフはサーバ監視システムの機能の一部として動作させています。興味ある方は[ここから](#)どうぞ。